

東芝自然冷媒(CO₂) ヒートポンプ給湯機用アース棒 取付説明書

形名

HWH-E901

- このたびは東芝自然冷媒(CO₂)ヒートポンプ給湯機用アース棒をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- お求めのアース棒は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に基づき指定業者が次により施工してください。なお、貯湯タンクユニットとの接続については、貯湯タンクユニット付属の「工事説明書」をご覧ください。
- この取付説明書は、お客様で保管していただくように依頼してください。

安全上のご注意

- 取り付け工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ安全に正しく取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。



警告

“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（* 1）を負うことが想定される内容”を示します。

* 1: 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。



警告

アース工事を必ず行う

故障・漏電したときに感電事故の原因になります。
ガス管・水道管への接続や共用アースをしないでください。



アース工事

●アースの接続

- 接地工事は電気設備技術基準および内線規程に従った、D 種接地工事〔接地抵抗 100 オーム以下〕をしてください。
- アース棒と貯湯タンクユニット内部のアース端子を、600 ボルトビニール絶縁〔φ 2 以上〕で接続します。
- アース棒とアース線の接続は、中継端子〔スリーブ〕または半田付〔できるだけロー付〕で確実にを行い、接続部を絶縁テープでよく巻いてください。
- アース棒はなるべく水気のあるところで、ガス、酸などのため腐食するおそれのない場所を選んで接地してください。
- アース棒は地面から出ないようにしてください。
- アース線は足などに引掛からないように固定してください。
また、アース線が損傷を受けるおそれのある場所は、合成樹脂管などで保護してください。
- 施設後は、接地抵抗が 100 オーム以下であることを必ず確認してください。〔接地抵抗の測定は、接地抵抗計をご使用ください。〕
- アース棒 1 本で規程の抵抗値〔100 オーム以下〕がとれないときは、2 ～ 3 本のアース棒を使って約 2 メートル間隔に施設し、並列接続して規定の値にしてください。